

11月15日(木) 18:00~20:00

1. 各団体の今後の取組と、これからの希望を語ろう。

1) 特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館

1.有給の消化率をあげる。残業時間を少なくする。

- 1) 来年度末には時間外についての規定を整えることを目標とする。
- 2) 以前パナソニック助成の組織基盤強化のプログラムで作成した業務フローを見直す。
- 3) 残業を減らすために仕事量を減らす必要がある。今回、業務フローを確認し、取り組んでいきたい。
- 4) 社労士など専門家にコンサルテーションを依頼したいと考えている。

2. 給料表の策定と運用(来年3月までに実施)

- 1) 関係各社とコミュニケーションをとり、理解を得ながら進めていきたい。
- 2) 職員との面談を進めていく。
- 3) 労働局などの助成金も活用したい。

2) 地域の応援隊 和(なごみ)

1. マネージャーを置いて運営するために必要な、リアルコストを積算し、今後の計画をたてる。

現在の課題：現在の制度を運営する分の人件費が出ない。

現在のマネージャー（事務局長）が多忙であり、運営の継続性が不安定である。また、任せられる人材が見つからない。運営が忙しくなればなるほど、自分の首がしまってくるので、運営組織そのものに課題がある。

会員は、年度により 150 名から 400 名と幅がある。会費は 500 円(年間)。会費だけ払う人も多い。



アドバイス：一度、現在のニーズをカバーするために必要なスタッフを置くとしたら、どれくらいの経費が必要かを計算してみる必要があるのではないか。その際、戦略の策定やコーディネートを行うなどの、高度なスキルへの対価はつきづらい。しかしそういうスキルがなければ成り立たない仕組みもあるのでしっかりと計上する必要がある。といっても、サービスを受ける人が払える料金も限度があるので、足り

ない分はどこかから持ってくる必要がある。

3 特定非営利活動法人しいのみ

1. 賃金表を見直す。期末手当制度を導入する。

- 1) 職員は骨を折って成果を出していると思うが、現在他のあったかふれあいセンターと比べても賃金が低いため、給与面を改善していく。
- 2) 期末手当に関しては、1月の理事会で提案、3月に決算を行い、収益が上がっていれば、期末手当として職員の活動費として還元をしていきたい。理事会ではなくて総会ではかってもよい。
- 3) 現在は、有給消化はしてもらっている。残業はほとんどない。

※縦割りではなく広く関係者に理解してもらいたいという考えもあり、5年間の取組の報告会を行った。役場の人も各課から来てくれた。行政の想いも活かすように活動している。

※「お給料以外は働きやすい職場だ。家族が大事なので、有給を取りなさいと言ってくれるのでやりやすい」という職員の声もある。しかし、職場の声は匿名などで改めて聞くと、また厳しい意見も出てくるものである。

4 特定非営利活動法人ありがとう

※事務局代理説明

1. 有給消化率をあげる。休める職場づくりを行う。

- 1) 理事会や総会で計画を出して、4月から体制を整える。

コメント：募集時に求人者が選ぶ要件は、給与面だけではないため、より団体の個性が出るような条件を記載するとよいのではないだろうか。時短勤務など、新しい体制を前向きに取り入れていかれる姿勢が良い。これまで助成金なども活用されているようであるので、参考にさせていただきたい。

5) 特定非営利活動法人トサシカケ NITARI

※事務局代理説明

※まだ雇用等は先の話であるため、仮定として記載してもらったものである。

コメント：(地域施設の)指定管理等を検討したらいいのではないか。

- ・立ち上げ時なので、具体的な事業を検討した上での人材確保になるのではないかな。
- ・法人として事業をしていくのか。または、個々人は生業を持ち、プラスアルファで法人として、地域活性化事業を行うのか、方針によって雇用形態もかなり変わってくる可能性がある。
- ・運営に関して、事務局と一緒にあって取り組んでくれる体制づくりも必要ではないかな。

次回：理事会に提案する資料案を作る会

- ・「採用力の強化と定着率向上を目指して」セミナー（11月26日開催分） 内容報告
- ・助成金の申請に関しての具体的な手続きや、具体的な資料作成など

開催日時：場所

12月13日(木) 17時より20時（退出自由）
高知県立ふくし交流プラザ 5階 和室

第5夜オーガナイザーコメント：（砂浜美術館 理事長 村上健太郎氏）

NPOは、こういうことをしたい、こうなりたいという事は書けるけれど、数字にすることが苦手なところがある。しかし実は、やりたいことは予算書に反映してくるものかもしれない。（例えば、その事業に人が必要であれば、予算書に人件費が上がってくるなど。）言葉と数字、両方を意識して組み立てていくことが、結果としてミッションの達成につながると思われる。

